

景気動向指数  
平成 25 年 7 月分（速報）の概要

7月のC I（速報値・平成22年=100）は、先行指数：107.8、一致指数：106.4、遅行指数：111.2となった。（注）

先行指数は、前月と比較して0.6ポイント上昇し、2ヶ月ぶりの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.04ポイント上昇し、8ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は1.02ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して0.9ポイント上昇し、2ヶ月ぶりの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.44ポイント上昇し、8ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.58ポイント上昇し、5ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.6ポイント上昇し、3ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.70ポイント上昇し、6ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.41ポイント上昇し、6ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

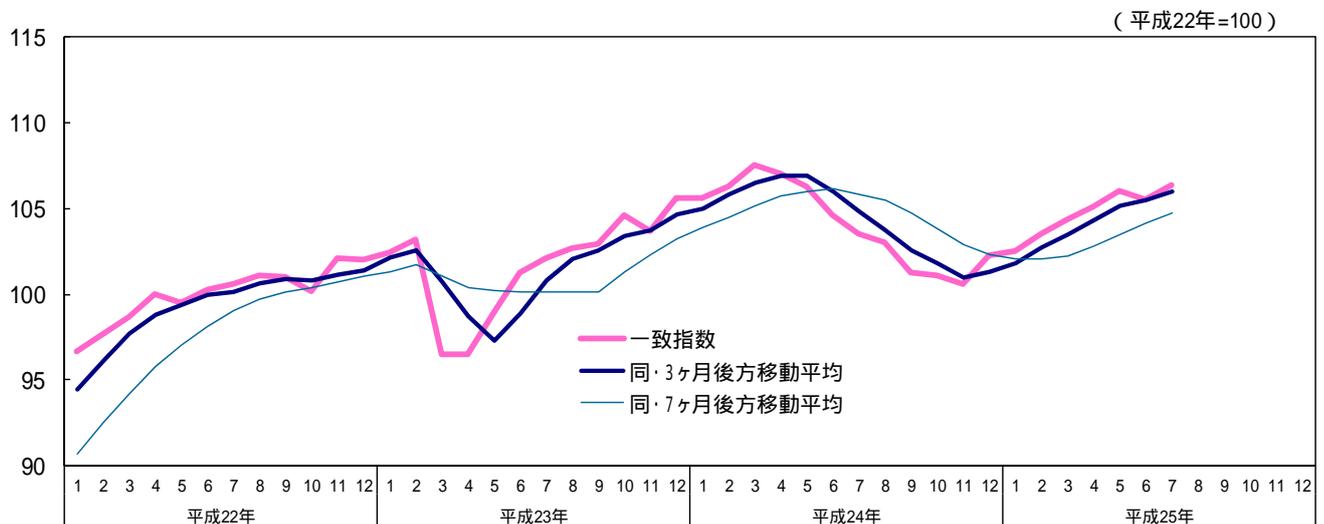
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.38	C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.16
C1：生産指数(鉱工業)	0.36	C4：耐久消費財出荷指数	-0.12
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.23	C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.11
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.21	C10：中小企業出荷指数(製造業)	-0.10
C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	0.12		
C3：大口電力使用量	0.11		
		C9：営業利益(全産業)	-0.03

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。